

本日のおもちかえり  
2019年6月16日

1) 使徒行伝1章1節—11節を読みましょう。ここでイエス様は何について語っていますか。これらのことはいつイエス様によって語られましたか？

2) ヨハネ14章16節—17節、ヨハネ15章26節、ヨハネ16章7節—8節、ヨハネ16章13節—15節においてイエス様は何について語っていますか。なぜ、イエス様は繰り返しこのことを語られたのですか？

3) 使徒行伝1章3節から復活されたイエス様は度々、弟子達の前にあらわれたことが分かります。このことは弟子達にとっては衝撃的な経験です。なぜイエス様はその経験と情熱をもって弟子達を世に送らなかったのですか？

4) コリント第一の手紙12章3節、使徒行伝16章6節-7節、エペソ5章15節—19節を読みましょう。ここから聖霊のどんなはたらきを知ることができますか。

5) ガラテヤ5章19節-23節を読みましょう。「肉のはたらき」は「自分のはたらき」であり、「御霊の実」は「御霊によって結ばれる実」のことを指していますが、この違いは何ですか？

6) 最初の人間アダムは土から作られ、その土に神の息、すなわち神の霊が吹き入れられ人は生きるものとなりました（創世記2章7節）。このことは私達人間はどうか生きるべきかということを示していますか。

7) 「あなたがたは、そんなに物わかりが悪いのか。御霊で始めたのに、今になって肉で仕上げるというのか」（ガラテヤ3章3節）。私達の何が御霊によって始まっていますか。肉で仕上げるとは具体的などのようなことでしょうか。